

Week of July 6, 2025 - The One Body of Christ　　Small Group Lesson 27

知り合う

あなた自身の体について考えてみてください。

毎日の生活の中で、どの部分が『一番大切』だと思いますか？また、その理由は何ですか？例えば、物を見るための『目』、何かをするための『手』、考えるための『脳』などです。）」

聖句　コリントの信徒への手紙一 12:12-31（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様です。13 なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼(バプテスマ)を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。14 実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。15 足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。16 耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。17 もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこで嗅ぎますか。18 そこで神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。19 すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょう。20 しかし実際は、多くの部分があっても、体は一つなのです。21 目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。22 それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。23 私たちは、体の中でつまらないと思える部分にかえって尊さを見いだします。実は、格好の悪い部分が、かえって格好の良い姿をしているのです。24 しかし、格好の良い部分はそうする必要はありません。神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体を一つにまとめ上げてくださいました。25 それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。26 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。27 あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。28 神はご自身のために、教会の中でいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に癒やしの賜物を持つ者、援助する者、管理する者、種々の異言を語る者などです。29 皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。皆が奇跡を行う者でしょうか。30 皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がそれを解き明かすでしょうか。31 あなたがたは、もっと大きな賜物を熱心に求めなさい。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 12節から13節で、パウロは教会を人間の体にたとえています。私たちには『多くの部分』があるにもかかわらず、何が私たちを『一つの体』　にしていると、パウロは述べていますか？

2. 15節から20節にかけて、パウロは足や目が不平を言うたとえ（15-16節）を話しています。ここでパウロは、どのような問題を取り上げているのでしょうか？（体の各部分を）配置する上での、神の役割は何だと書かれていますか？もし、それらを配置したのが神ご自身であるなら、そのことは何を意味するのでしょうか？

3. 21節から24節について、体の中で『より弱い』、あるいは『つまらない』ように見える部分について、パウロは何と述べていますか？また、そうした部分が、なぜ『なくてはならない（不可欠な）』ものだと言うことが出来るのでしょうか？

4. 25節と26節について、神が『あまり尊ばれない部分』にあえて尊さを与え、体を一つに組み立てた目的は何だと書かれていますか？それを受けて、体（に属する私たち）は、互いにどのように応答すべきでしょうか？

5. 28節から30節で、パウロは様々な賜物（たまもの）をリストアップした後、いくつかの問いかけをしています。これらの問いかけを通して、教会における役割の多様性について、パウロが伝えたい一番の要点は何でしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：
タケシ牧師は、息子さんのダウン症のあるクラスメートのお話を分かち合ってくださいました。このお話は、パウロが語るポイント「すべての人は、その人の能力がどう見られるかにかかわらず、神の教会にとってきわめて重要な存在であり、一人ひとりがユニークな影響力を持っている」ことを、どのように具体的に示しているでしょうか？

話し合い　その2：
タケシ牧師は、次のように語っています。「もし『自分は教えたり、歌ったり、料理や案内をしたりできないから、教会に私の助けは必要ない』と考えているなら、それは間違いです。」それでは、自分には「人に見せられるような特別な才能」が何もないと感じている人に対して、牧師はどのようなことをするように勧めていますか？

話し合い　その3：
あなたの賜物（たまもの）を「発見し、それを育む」ため、そして、それを用いて「神の教会をケアする（大切にする）」ために、今週あなたができる「小さな一歩」は何でしょうか？たとえ、それが誰にも気づかれないようなことであっても構いません。

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。